

在来線

新幹線

開削トンネル

現在、桑園工区では土留め壁を設置中で、掘削に向けた準備が着々と進んでいます。JRTTでは、今後もこれまでに培った技術力を活かし、周辺環境に応じた工法で工事に取り組みんでいきます。

開削工法ではまず掘削箇所の両側に壁を作ります(図1)。土留め壁と呼ばれるこの壁は、その名の通り、外側の地盤を押さえる役目を果たしています。土留め壁を設置した後は、その内側を地中深

疑問に感じるかもしれませんが、実は路面覆工は蓋のような構造で、自由に取っはずることができるため、必要に応じて掘削した土を搬出したり、資機材などを出し入れしたりすることが出来ます。掘削

桑園工区で採用している開削工法の長所は、限られたスペースで施工できることに加え、大きな道路と交差する箇所でも、通行止めにすることなく工事に着手できることなど、まさに都市部ならではの

が終わると、鉄筋コンクリートの箱型トンネルを構築。最後にその上部から地上までを埋め戻し、地上を復旧して工事が完了します(図2)。

A photograph of three workers standing side-by-side. They are all wearing white hard hats with a blue logo, dark blue long-sleeved shirts, and high-visibility yellow safety vests. The worker on the left is a man, the middle is a man, and the right is a woman. They are all smiling at the camera. A speech bubble is positioned above the middle worker, containing the text '安全・衛生' (Safety & Health).

つく
る

新幹線

を

Vol.21

Vol.21

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。



二
○三〇年度末の開業
に向けて建設が進む

く掘り進めていきますが、今度は掘削した土を地上へ引